

真夏の新潟を盛り上げる！ 令和元年新潟まつり

みなとまち新潟が熱気と歓声に包まれた3日間となりました！

新潟まつり(実行委員長：福田勝之会頭)が8月9日(金)から11日(日・祝)まで開催され、踊りや住吉行列、エンディングを飾る花火大会など、新潟の街が大勢の人で賑わいました。期間中は天候にも恵まれ、3日間の総入場数は昨年比9千人増の91万人となりました。

多くの市民、企業の皆様からのご協賛・ご協力に厚く御礼申し上げます。



花火大会



大民謡流し



水上渡御



新潟キラキラパレード



お祭り広場



住吉行列



宮入り

2020年新潟まつりの開催日程(予定)は、8/21(金)、22日(土)、23日(日)となります。

新潟県工業の現状について講演

～金融業部会(並木富士雄部会長)～
7月30日(出席者16名)

第1回金融業部会を開催し、副部会長の選任及び令和元年度事業計画(案)について承認しました。

その後「新潟県工業の現状と工技総研のご紹介」と題し、新潟県工業技術総合研究所 所長 永井直人氏が講演しました。

永井氏は、「新潟県は農業県のイメージがあるが、実は製造業が県内総生産の中で1番高いウェイトを占めている。しかし、付加価値額は全国でも下位で、生産性が低い傾向にあるので、工技総研として、今後AI/IoTによる生産性向上のための支援等を行ってきたい」と述べました。



インバウンド接客のいろはを学ぶ!

～観光業部会(星野佳人部会長)～
7月31日(出席者29名)

「接客業のインバウンド対策～海外のお客様とうまくコミュニケーションをとる方法～」をテーマに、飲食店専門の接客英会話講師 内木美樹氏をお迎えし、セミナーを開催しました。新潟県のインバウンド実情や、効果的な情報発信の方法などについて説明を受けた後、実践的なおもてなしや接客英会話を学びました。

グループワークや発表の様子も大変活発で、観光業の第一線に身を置かれている参加者の皆様には、すぐに業務に活かせる点も多くあり、有意義なセミナーとなりました。



2019年新潟市の取組について(意見交換)

～政策委員会(柴山圭一委員長)～
8月6日(出席者15人)

第1回委員会を開催し、「2019年新潟市の取組」について、三富健二郎政策企画部長から説明を受けました。三富部長は、集中改革推進課を新設して横断的に事業・施設等の効果判定を行っていることを説明したうえで、企業誘致や人口減少対策、元気な農業の推進及びゲートウェイ機能強化並びに誘客促進策など、多岐に亘る政策分野について解説しました。委員からは、「生産年齢人口の比率が重要である」、「公共施設整備においても儲かるという観点が大事」といった意見が出されました。



ビジネス拡大に向けて、積極的な情報交換

～第2回ビジネス情報交換会～
7月24日(参加者23名)

異業種との交流で、会員相互のビジネスチャンス拡大を図ることを目的としている「ビジネス情報交換会」を開催しました。

それぞれ自社のPRをした後、グループに分かれて3回のマッチングを行い、参加事業所同士が自社の事業活動などについて活発な情報交換を図りました。

今年度は、10月と2月にも開催を予定しております。これまで参加したことのない事業所様も大歓迎ですので、是非ご参加をご検討ください。



第21回日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム

8月22日(参加者約340名)

日本海沿岸東北自動車道(日沿道)建設促進フォーラムを(一社)東北経済連合会と沿線4県(新潟・青森・秋田・山形)の商工会議所等で構成される実行委員会が、ホテルイタリア軒で開催しました。

当日は、沿線4県の代表者から日沿道整備の意義等を訴える意見発表があったほか、(一財)日本みち研究所理事長・筑波大学名誉教授の石田東生氏による記念講演も行われました。

フォーラムの最後には、福田会頭が日沿道の日も早い全線開通に向けた建設促進を求める大会決議案を読み上げ、採択されました。



信濃川クルーズ体験×万代テラスイベント

8月25日(参加者147名)

信濃川ウォーターシャトルによるクルーズ体験と万代テラスでの各種イベントを開催しました。参加者は当所会員と一般参加者で、萬代橋から河口付近まで、約50分の水上周遊を楽しみました。

また、乗船場所の万代テラスでは、ステージブースや飲食ブース、縁日屋台などが併設され、ご家族で楽しんでいる様子が見られました。

